

国語科での読書活動を生かした授業実践

朝来市立朝来中学校
2年生

単元名

読書を楽しむ

教材名：読書生活を豊かに（光村図書）

《単元の目標》

- 話し言葉と書き言葉の違いを理解し、聞き手を意識して話し言葉としてふさわしい言葉を使い、話すことができる。 【知識及び技能】
- 本の内容や話し手の考えを理解し、自分の考えをまとめたり広げたり深めたりして交流することができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- 聞き手を意識して本の魅力が伝わるような紹介の仕方を考え、読書を通して他者と意見や感想を共有する楽しさを知り、読書に親しもうとする。 【学びに向かう力、人間性等】

《学習の流れ》

- 1 ビブリオバトルの説明を聞き、全国中学ビブリオバトル決勝大会を鑑賞する。
- 2 自分のおすすめしたい本を選び、本についての情報やおすすめポイントをまとめた発表原稿を準備する。
- 3 ビブリオバトルの発表時に視覚補助となるようなスライドを作成する。
- 4 ビブリオバトル予選会、決勝戦を行い、クラスのチャンプ本を決める。

読書があまり得意ではなかったけれど、ビブリオバトルを通して、読んでみたいと思える本に出会えたことが嬉しい。



自分の好きな本について紹介したり、友達から「すごい」と言ってもらえたりと普段できない活動だった。

中学校区内の小学校との連携のポイント

読書アプリや読破プロジェクトで読書に対する壁を取り除こう。

- 中学校区で協議した結果、共通した課題として読書への苦手意識が強いことが挙げられたことから、各学校でキャンペーン活動が行われている。中学校では試行的に読書アプリを導入し、生徒同士、教師と生徒というように読んだ本や感想の共有ができるよう機会を設けた。また、小学校でも読破プロジェクトを行い、学校全体で読書しようという雰囲気作りが行われた。

